

9か月連続の減少(15.6%減)

3月の住宅着工19年度、41年ぶり低水準

国土交通省が四月三十日発表した三月の建築着工統計調査報告によると、同月の新設住宅着工戸数は九カ月連続の減少となる前年同月比一五・六%減の八万三千九百九十一戸となった。

この結果、平成十九年度(平成十九年四月～平成二十年三月)の着工戸数は、五年ぶりの減少となる前年度比一八・七%減の百三十五万五千九百八十八戸と、昭和四十一年度(一九九六年度)以来四十一年ぶりの低水準となった。

三月の着工戸数の詳しい動向は以下のとおり。

▼総戸数 八万三千九百九十一戸で前年同月比一五・六%減と、九カ月連続の減少となった。季節調整済年率換算

▼利用関係別 持家は二万四千五百戸で、前年同月比六・二%減と、十四カ月連続の減少となった。このうち、民間資金による持家は二万二千三百八十八戸で、同六・四%減(十四カ月連続の減少)、公的資金による持家は二千一百四十四戸で、同二・五%減(二十

▼資金別 民間資金住宅は七万五千二百二十五戸で、前年同月比一七・一%減、公的資金住宅は八千七百六十六戸で、同〇・一%増となった。

▼三大都市圏 ほかの地域別 前年同月比で見ると、総戸数は、首都圏が一・七%減、中部圏が一・六%減、近畿圏が二・四%増、北海道が二・五%増、東北圏が二・六%減、北陸圏が二・七%減、中部圏が二・七%減、近畿圏が三・四%増、融資住宅三千六十戸(同一

▼構造別 木造は三万九千五百六十三戸で、前年同月比二・六%減、非木造は四万四千二百二十八戸で、同二・四%減と、四月ぶりの減少となった。

▼建築工法別 プレハブが九千七百六十六戸で、前年同月比八・九%減と、三月ぶりの減少となった。ツーバイフ

▼都道府県別 前年同月比で見ると、北海道が二・九%増、鹿児島が二・八%増、徳島(四八・五%減)、茨城(四三・八%減)など三十四都府県が減少となった。

譲住宅は、一万七千四百九十二戸で、同二・〇%減と、九カ月連続の減少となった。

分譲住宅のうちマンションは、一万七千五百八十七戸で、同三・二%減と、九カ月連続の減少。地域別のマンション着工戸数は、首都圏が九千九百五十四戸(前年同月比一六・七%減)、中部圏が三百四十六戸(同五・八%増)、住宅金融機構

新設住宅着工都道府県別 (平成20年3月分)

都道府県	戸数の合計		対前年同月比 %
	戸数	%	
北海道	83,991		△15.6
青森	3,312		△21.3
岩手	311		△24.5
宮城	525		△7.1
秋田	965		△36.1
山形	393		△28.4
福島	579		△17.4
茨城	882		△5.1
栃木	1,340		△43.8
群馬	1,405		△16.7
埼玉県	1,207		△5.6
千葉県	5,981		△0.4
東京都	4,562		△5.8
神奈川県	11,960		△21.7
新潟	7,869		△5.6
富山	1,079		△19.2
石川	525		△24.6
福井	809		△8.6
山梨	326		△39.3
長野	398		△4.3
岐阜	967		△19.8
静岡県	1,233		△3.5
愛知県	2,746		△6.0
三重	5,564		△18.2
滋賀	1,310		△4.4
京都	881		△20.6
大阪府	1,431		△41.4
兵庫県	6,381		△32.6
奈良	3,530		△4.9
和歌山	641		△15.5
徳島	468		△6.4
香川県	272		△6.7
愛媛	332		△1.8
高松	1,124		△33.7
岡山	1,251		△43.0
広島	890		△10.5
山口	256		△48.5
島根	449		△24.8
鳥取	767		△12.7
徳島	639		△118.1
高松	3,250		△42.0
愛媛	422		△32.9
高松	558		△13.0
岡山	738		△38.0
広島	715		△11.0
山口	571		△10.4
島根	1,291		△55.9
鳥取	886		△0.3

住宅資材新聞2008年(平成20年)5月5日(月曜日)号



ビドールニュース 2008年5月号 発行: 株式会社 ナガノ
 大阪市東成区大今里西1-25-4 TEL: (06)6972-3824(代)
 メール: info@bidoor.co.jp WEB: <http://www.bidoor.co.jp/>

